レジデンシャル事業(Noism Company Niigata)評価書

- 【期 間】 評価期間はNoismのシーズン (秋~夏) とする ※21 s t シーズン: R6年9月~R7年8月
- 【評価】 A:要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている(複数の指標の場合,全てを達成し,かつその達成度・内容が優れている)
 - B:要求水準(評価指標)が達成されている(複数の指標の場合、全てが達成されている)
 - C:要求水準(評価指標)が達成されていない(複数の指標の場合,全ては達成されていない)※18thシーズン(市による評価)&19・20thシーズン(財団による評価)と同じ

事業•活動	指標(アウトカム発現の裏付)	21st 実績	自己評価	財団・市・外部有識者意見
・柳都会(対談企画)・他団体依頼公演等・ダンスカンパニー運営・Noism2他	1:Noism 0, 1, 2 新潟公演企画数【3企画以上/年】	3企画	В	【財団】 21stシーズンは、NoismO/Noism1「円環」、Noism2定期公演vol.16、NoismO+Noism1「アルルの女/ボレロ」を劇場で開催した。指標2の新潟公演の来場者数は、19・20thシーズンで実施の学校貸し切り公演がなく指標を下回っためC評価とした。来る22ndシーズンのNoismO・1夏公演は、これまでの「金土日3公演」から「土日2公演+学校貸切公演+土日2公演」に変更し来場者数の増加を図る。いずれの公演も99%以上の満足度を得たため指標3はA評価とした。なお「アルルの女/ボレロ」は専門家からも高い評価を得て、毎日・読売・公明新聞等の全国紙をはじめ、専門誌、Web上に公演評が掲載された。指標5の新規来場者率は21.5%でA評価。指標6の柳都会実施数は21stシーズンに第30回の区切りを迎え(R6年度)、22ndシーズンに第30回の区切りを迎え(R6年度)、22ndシーズンに第30回の区切りを迎え(R7年度)。これにより開催経費が増加するため21stシーズンの2回目の実施(R7年度)を見送った結果1回で指標を下回りて実施(R7年度)を見送った結果1回で指標を下回りて評価。指標8のレクチャー系講座は、芸術監督等による講演会が8回と指標を大きく上回りA評価となった。全体として【レジデンシャル制度の目標・方針】【アウト
	2:NoismO,1,2新潟公演の来場者数 【3,235人以上/年】	2,937人	С	
	3:NoismO,1,2新潟公演の満足度 【95%以上】	99.2%	Α	
	4:NoismO,1,2県外公演企画数【2企画以上/年】	2企画	В	
【アウトカム(最終)】 「芸術文化の継承・発 展・創造・発信・交 流」が盛んに行われ ている	5:NoismO,1,2新潟&県外公演の新規来場者率【10%以上】	21.5%	Α	カム】の実現に大きく貢献した。
	6:柳都会実施数【2回以上/年】	10	С	【市】 多くの指標において要求水準を達成したことを評価する。指標5については、新規来場者を獲得するため、小学校のアウトリーチの際の働きかけなど新たな取組を評価する。一方、要求水準を満たさなかったもののうち、指標2では新たな取組を含め、指標の達成に努めていただきたい。指標6については、りゅーとびあにおいて、事前に計画に対し、見直した結果の効果を明らかにしていただきたい。
	7:金森穣氏(Noism芸術総監督)以外の振付家の招聘 【1回以上/年】	30	А	
	8:レクチャー系講座実施【3回以上/年】 ※公演時のアフタートークにおける公演解説を含む	80	Α	【 外部有識者】 評価は妥当である。
	9:他団体との連携企画数(共催・受託等) 【3回以上/年】	60	А	
<u>社会包摂系</u> ・他団体依頼公演等 (再掲)	10:小中学校向けアウトリーチ実施数【10回以上/年】	230	А	【財団】 指標10のアウトリーチは、新潟市内20の小学校に加え、新潟県企画「新潟県文化祭2024」により、上越市、十日町市の小学校3校を訪問。指標11のワークショップも数多くの依頼に応え県内外で8回。指標12 は音楽事業のアウトリーチを参考に内容を改良したこと
・アウトリーチ ・ワークショップ& オープンクラス 他	11:ワークショップ実施数【3回以上/年】	08	А	は音楽事業のアクトリーチを参考に内容を成長したこともあり96.8%と高い満足度であった。いずれも指標を大きく上回ったためA評価とした。 【市】 各指標において要求水準を達成したことを評価する。
【アウトカム(最終)】 「多様な人(老若男女・ 障がい者等)が生きや すいまち・社会」にな っている	12:アウトリーチ参加者満足度【95%以上】	96.8%	Α	【 外部有識者】 評価は妥当である。
生きがい創出系 ・オープンクラス& スクール ・活動支援&寄付会員 獲得 他 【アウトカム(最終)】 「多様な人(老若男女・障がい者等)が生きやすいまち・社会」になっている	13:スクール実施数【2企画以上/年】	1企画	С	【財団】 指標13のスクール実施数は、高校、大学ダンス部向けに行っていたものの対象者を指標14のオープンクラス受講に誘導する見直しを行い結果、サマースクール1企画のみの実施でC評価となった。オープンクラスは「バレエ」「レパートリー」等を実施した。いずれも年齢・対象(初心者、経験者)の異なる様々なクラスを用意、幅広い受講生にきめ細やかに対応し、指標15の満足度は100%と高くA評価とした。Noismの活動を資金面で支援する活動支援会員(公演チケットの割引等の対価性あり)は100名を超えているが、その半数超が市民であり指標値を13程上回り指標17はA評価とした。対価性のない寄付会員は指標値を2割程上回り指標18はA評価とした。社会包摂系事業と合わせてC評価は1つだけ、全体として【レジデンシャル制度の目標・方針】【アウトカム】の実現に大きく貢献した。 【市】 多くの指標において要求水準を達成したことを評価する。
	14:オープンクラス実施数【3企画以上/年】 ※一般市民向け(バレエ・からだ大人・からだ子供・ レパートリー等)	3企画	В	
	15:オープンクラス参加者満足度【95%以上】	100%	А	
	16:活動支援会員数【103人以上/年】	106人	В	多くの指標において安水が早を達成したことを評価する。 指標13については、指標14へ誘導する見直しを行った とのことだが、高校・大学のダンス部向けのオープンクラス の参加者数の状況や、見直しの効果を明らかにしていただき たい。

生きがい創出系	17:16のうち、市内在住者数 【48人以上/年】	54人	Α	【外部有識者】 評価は妥当である。
・オープンクラス& スクール・活動支援&寄付会員	18:寄付会員数【21人以上/年】	27人	А	
獲得 他 【アウトカム(最終)】 前頁記載のとおり	19:18のうち、市内在住者数 【11人以上/年】	11人	В	
文化度向上系	【再掲】4: NoismO,1,2県外公演企画数【2企画以上/年】	2企画	В	【財団】 指標20は指標値を大幅に上回ったためA評価とした。 全体としてC評価はなく、【レジデンシャル制度の目標・方針】【アウトカム】の実現に大きく貢献した。
同上 【アウトカム(最終)】 芸術文化が「まちづくり (観光・国際交流・経済 等)」に寄与している	【再掲】9:他団体との連携企画数(共催・受託等) 【3回以上/年】	60	А	【市】 各指標において要求水準を達成したことを評価する。
	2O:新潟公演の市外者来場率【1O%以上】	22.3%	А	【 外部有識者】 評価は妥当である。

·····································							
財団(自己評価)	新潟市(意見)	外部有識者(意見)					
・国際活動部門は、外部条件による新作『アルルンとして近藤良・金子のでは、外部条件では、外部をとして近いでは、大連を記した。「日本ののが、大連ののが、大連ののが、大連ののが、大連ののが、大連ののが、大きのでは、大連ののが、大きのでは、大連ののが、大きのでは、いきのでは、いきのでは、いきのでは、いきのでは、いきのでは、いきのでは、いきのでは、いきのでは、いきのでは、いきないは、いきないは、いきないは、いきないは、いきないは、いきないは、いきないは、いきないは、いきないは、いきないは、いきないは、は、いきないは、は、いきないは、いきないは、いきないは、いきないは、いきないは、は、いきないは、いきないは、いきないは、いきないは、いは、いきないは、いきないは、いきないは、いいは、はないは、いきないは、いきないは、いいは、いきないは、いいはないは、いいは	・20項目中12項目でA評価に至っていることを高く評価する。 ・昨年の意見にあった「より広い層へも効果を波及させることを念頭に置いた取組」について、アウトリーチの機会を通じて、児童を招待することで、新規の来場者を増やすという取組を実践したことは評価する。引続き幅広く市民へ波及させることを期待する。ことを期待する。また、内容の見直しを行った結果、要求水準を達成できなかった項目については夏公演の日程変更など来場者の増加に向けた新たな取組に期待する。また、内容の見直しを行った結果、要求水準を達成できなかった項目についてだとによって得られた効果を検証していただきたい。 ・レジデンシャル制度の基本方針のうち、「本市独自の多様な文化を活用」、「舞台芸術に携わて、各指標の中や財団評価に含まれていないことから、事業実施の中で、それらの取組が行われるように事業の計画を立てる必要があると考える。	・事業自体をより良くしようという考え方や行動が 随所に見られ、また実際の運用が良い方向へ進ん でいるにも関わらず、当初想定の指標がいくつもある。そのために評価が低くなった指標がいている部分もある。そのために評価が低くなの見直しが必要ではないか。 ・アウトプット的な指標が多いので、よりアウトそらすれば、事業計画や実施回数が変わっても直接的に低いでは、響になるである。直接的に低呼になる事では、継続していくよででしまを動に低低評価にあり、一つの制度を運営、継続していくまででではを数ことのもできまさいので大変難しい作業であるようなものなので大変難しい作業であるようなものなので大変難しい作業であるようなものなので大変難しいが登高により、ままさいのないでは、まさにはでいる。 以下参考意見(本評価とは直接関係しないでからのようであるとはであり、ままでは、は、ままでは、は、ままでは、は、ままでは、は、ままでは、ままでは、					

人 反映

総合評価(事業評価)

レジデンシャル制度目標①・方針① (対応する事業・活動:上表「文化度向上系」)

・多くの指標(1,3,4,5,7,8,9,20)で要求水準を達成しており(不達成は2,6)、方針①「質の高い舞台芸術作品の創造・発信」を実践し、目標①「りゅーとぴあ及び新潟市のプレゼンス向上」を現実のものとしている。21stシーズンは、R6年12月~7年2月にかけて、新潟、北九州、大津、埼玉と国内公演を行った。加えて「SaLaD音楽祭」での東京都交響楽団との共演、「黒部シアター2025春」「SCOT SUMMER SEASON2025」など、国内各地で様々な場面での活動ができた。評価会議のオブザーバーであるアーツカウンシル新潟の意見「施設の占用に関して一般の利用希望者との調整が必要になるのではないか。市民の利用機会の確保についてはよく検討してほしい」を踏まえて、施設の稼働率を考慮しながら、市民利用とのバランスを図りたい。

<u>レジデンシャル制度目標②・方針②</u>(対応する事業・活動:上表「社会包摂系」「生きがい創出系」)

•1つの指標(13)以外の指標(10,11,12,14,15,16,17,18,19)で要求水準に達しており、方針②「市民や地元の様々な団体等との交流・連携」 「舞台芸術の普及・啓発・人材の育成」を実践し、目標②「市民の文化芸術活動への支援と新たな鑑賞者の増加」に前進している。アウトリーチとワークショップの開催回数は指標を大きく上回ったことに加え、アウトリーチ・オープンクラスの参加者満足度も高く、受講生に対してきめ細やかな対応を行っている。また、アウトリーチを体験した子ども達を公演に招待し「子ども+保護者」という新たな観客層を開拓することができた。

レジデンシャル制度目標③・方針③(対応する事業・活動:上表「文化度向上系」)

前述の通り一部指標で未達成があるものの、方針③「国内他館との協力関係の構築」「舞台芸術に携わる本市のクリエイティブ人材等の活用(衣裳デザインやNoism2公演におけるチラシ)」を実践し、目標③「地方都市から舞台芸術を創造・発信する取り組みの波及」の実現に前進できた。アーツカウンシル新潟の意見「新潟市の基本方針、特に"新潟市のクリエイティブ人材の活用"について、活用されるとどういう風に良くなっていくのか、どのようなアウトカムが発現するのかについては、その効果について改めて検討し、実現に向けて市と協議したい。

21stシーズンはレジデンシャル制度開始から3年目のシーズンで、芸術監督任期更新判断の為に必要な3年間評価の最後の年であり3年間の経年変化を見える化することが必要であったため「指標」は従前の通りとしたが、市や外部有識者から寄せられた各種意見を踏まえて次期シーズン以降は指標の見直しの検討を行い「成果をより的確に見える化する」ことに努めたい。